

たる第八回委員会に於て同争議の應援のため、在阪労働組合協議各團體に對して、應援委員会の設置を提議することを決定し、直に其の爲の活動に移つた。

應援委員会を開催すること六回、工作所に對する抗議、官憲に對する取締の公平を要求し、争議團員諸君に對する激勵、演説會其他による輿論の喚起と動員、解決促進のため諸活動、大衆動員計劃をなしたつてをる。

右の如く吾等は口に叫ぶのみでなく、行動において、一歩一歩大衆の利益の擁護のために、戦線統一の實踐をなしてゐるのであつて、かゝる行動こそが吾が全勞の持つべき任務なりと確信するものである。

二、各部門の活動概況

イ、組織部

反動期における特に困難なる組織闘争を精神的に遂行した。昨年度における減少せる組織を奪還すべく、各部門闘争との有機的結合による闘争によつて、七百名の同志を陣營の中に加ふることが出来た。

これを内譯に見れば金屬化學、都從、紡織、電氣に於いて各々増加し、運輸、服物、泉州、全阪大阪支部に

おいて減少してゐる。
化學労働の全映畫同盟は同盟全國大會の決定に基づいて東京、大阪、神戸、各市の全國労働に所屬する映畫従業員の組織を糾合した全國映畫劇場従業員組合を結成するため、化學労働より分離改組をなした。

ロ、争議部

本年度は前年度より争議件數、参加人員は約半減した。これは一面一般情勢報告にのべたごとく産業界が一應安定し、労働者にとつては儼か乍ら生活に安心をもちたことと見らるゝのであるが、又一面吾々の組織において昨年度インフレーション闘争が全體的に遂行され、本年度においては昨年度に闘はれなかつた組織が闘ひをなしたことであると思はれるのである。

争議の概括的状态は、賃銀値上等の積極的闘争において多くストライキによらず成功をもち、解雇反對の闘争等の消極的闘争は勝利の解決をなしてゐる。

要するに本年度における闘争は全體的に成功し來たつたことを報告するものである。

十月八日に争議部員會を開き、久米館、岡田鑄造、松屋金造、玉造虎三、三浦、各争議の共同闘争を決議し、此

支部	聯合	7	208	97	1164	交野支部	1	127	1	100
朝日支部						仲鐵工業部聯合	91	508		
東洋勸業支部	3	434	2	454	混合支部準備會	3	141	1	62	支部各々
沼波支部	2	47	3	42	赤穂支部	2	213			
大和田支部	3	128		126	直嶋	5	127	8	70	
友染工業支部	4	52			計	27	1144	14	741	
大阪電氣従業員組合										
天下茶屋支部	13	44	19	66	大阪市港區九條南通一ノ一四四 代表者 山口常次郎					